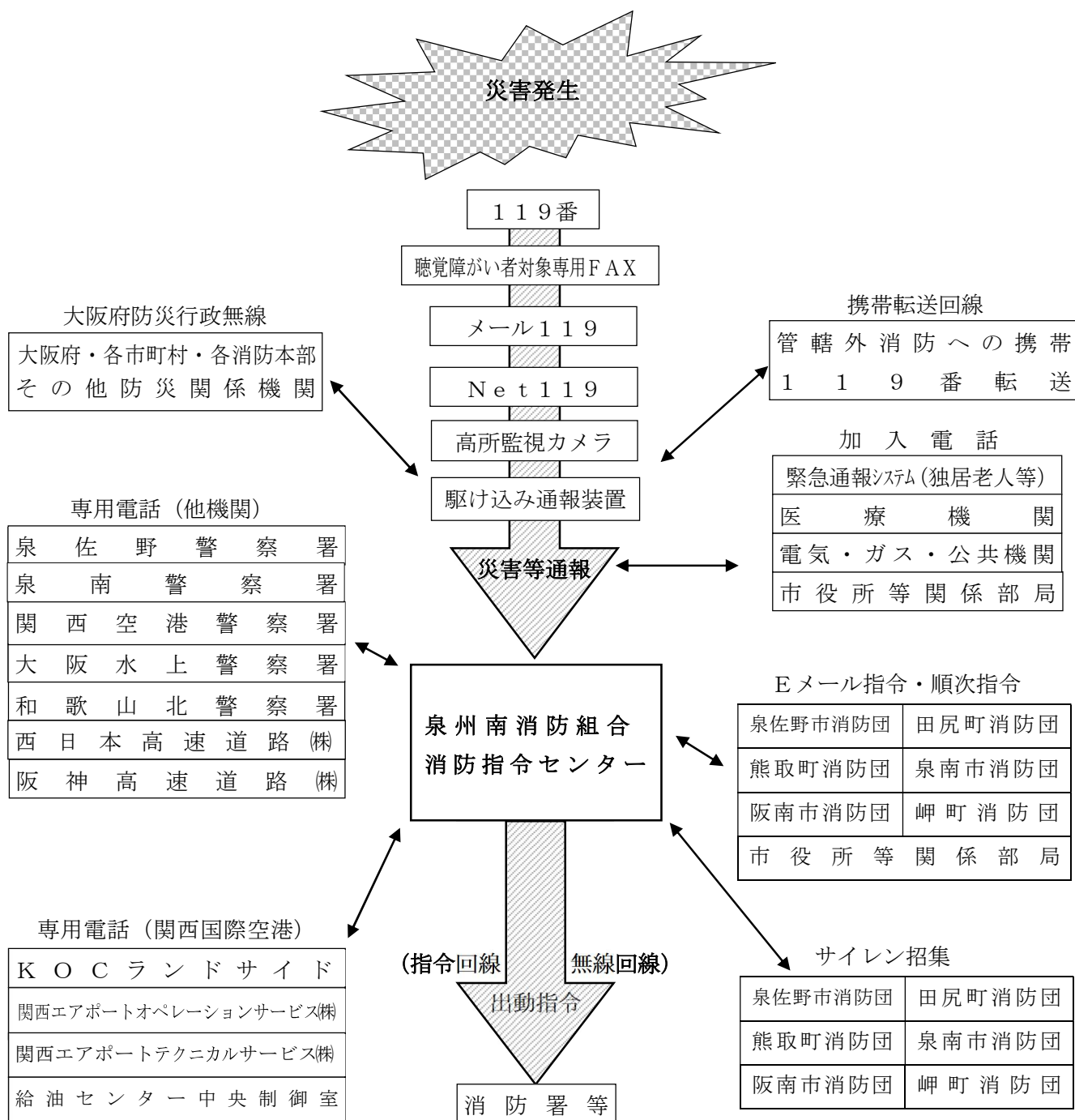


指令編



消防指令センター

通信指令系統図



通信施設の状況

(1) 消防無線電話（デジタル無線）

回線種別 \ 署所別		泉佐野 基地局	阪南 基地局	熊取 基地局	岬 基地局
基地局	活動波	5	5	4	4
	主運用波	1	1	1	1
	統制波 1	1	1	1	1
	統制波 2	1	1	1	1
	統制波 3	1	1	1	1

統制波 1・2・3 については切替運用

	無線機			卓上型 固定移動局	署所端末用 無線受令機
	車載型	可搬型	携帯型		
消防本部	11	2	12	0	1
田尻庁舎	1	0	2	0	1
泉佐野署	7	1	11	0	1
空港出張所	5	1	4	1	2
上瓦屋分署	2	0	4	0	1
日根野分署	2	0	5	0	1
泉南署	10	1	10	1	2
砂川出張所	2	0	3	0	1
熊取署	9	1	11	1	1
阪南署	7	1	9	1	1
北分署	6	0	7	1	1
岬 署	6	1	12	1	1
予備【指令課保管】	8	0	0	0	0
合 計	76	8	90	6	14

(2) 消防無線電話（アナログ無線）

回線種別	
可搬型無線機	2
携帯型無線機	7

(3) 消防有線電話（専用電話）

回線種別	
火災・救急専用電話	16
署所指令専用電話	11
消防団指令専用電話	26
携帯電話(119)転送専用電話	2
警察専用電話	1
高速道路専用電話	2
新関西国際空港(株)専用電話	4

(4) 消防有線電話（その他）

回線種別	
一般加入電話（FAX13回線含む）	42
問合わせ専用電話（テレガイド）	※1000
聴覚障がい者用ファックス	1

※テレガイドの同時受付回線数は1,000回相当（他消防との共同利用）

(5) その他の通信施設等

回線種別	
大阪府広域災害救急医療情報システム	1
非常衛星通信専用電話	2
気象情報収集装置	1
高所カメラ装置（録画機能付き）	1
指令用FAX装置	12
消防団サイレン吹鳴装置（有線）	2
消防団サイレン吹鳴装置（無線）	4
大阪府防災行政無線	1

(6) テレガイド月別受信件数

月別	受信件数
1月	3,478
2月	2,523
3月	2,636
4月	3,549
5月	3,069
6月	2,314
7月	4,207
8月	2,737
9月	4,192
10月	4,533
11月	4,303
12月	4,218
合計	41,759

1 1 9 番通報受信回数状況

月別災害受付件数

市町村別 種別		1月	2月	3月	4月	5月	6月
災害受付	火災	4	5	2	7	1	1
	救急	1,713	1,326	1,436	1,379	1,321	1,289
	救助	14	15	21	10	9	13
	その他災害	103	91	87	89	74	65
小計		1,834	1,437	1,546	1,485	1,405	1,368
その他受付	問合せ	275	198	195	180	196	178
	いたずら	17	24	13	16	42	31
	まちがい	133	119	131	156	138	176
	病院紹介	181	87	94	69	92	95
	その他	111	78	80	95	208	132
小計		717	506	513	516	676	612
合計		2,551	1,943	2,059	2,001	2,081	1,980

市町村別 種別		7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
災害受付	火災	2	2	3	1	2	1	31
	救急	1,462	1,555	1,290	1,424	1,411	1,382	16,988
	救助	5	13	14	13	10	16	153
	その他災害	77	104	98	104	104	53	1,049
小計		1,546	1,674	1,405	1,542	1,527	1,452	18,221
その他受付	問合せ	205	233	176	216	190	162	2,404
	いたずら	42	38	35	37	50	32	377
	まちがい	171	224	110	160	130	198	1,846
	病院紹介	95	120	85	72	101	118	1,209
	その他	236	215	187	146	134	77	1,699
小計		749	830	593	631	605	587	7,535
合計		2,295	2,504	1,998	2,173	2,132	2,039	25,756

119番通報 出前講座

119番は市民の命を守る大切な通報手段であり、災害や救急事案に迅速に対応できるよう適正利用が重要だと考えます。

特に平成30年9月に近畿・四国地方を中心に上陸した台風21号のような大規模災害時には様々な通報が集中しました。

なかでも緊急度が低い「ガラスが割れた」、「停電して困っている」などの通報が増えると本当に必要としている方への対応が遅れる可能性があります。

そのため、私たち消防は、出前講座を通じて、119番通報では緊急性のない問い合わせは控えていただくことや、119番通報は命に関わる緊急時に利用するものであることを住民へ周知し、正しい通報要領や必要な方へ確実につながる体制づくりに努め、ひとりでも大切な命が救えるように、講習会を開催しています。

【119番通報 出前講座実施状況】

	受講人数(人)	開催回数
令和3年度実施	195	17
令和4年度実施	352	31
令和5年度実施	561	27
令和6年度実施	401	19
令和7年度実施	778	8
合 計	2,287	102